

# 令和7年度 推定野菜摂取量測定会 集計結果

(同時実施)

7月26日：食育SATシステム、血管年齢測定  
11月15日：歯周病リスク検査、絵本の読み聞かせ

令和8年2月  
守山市

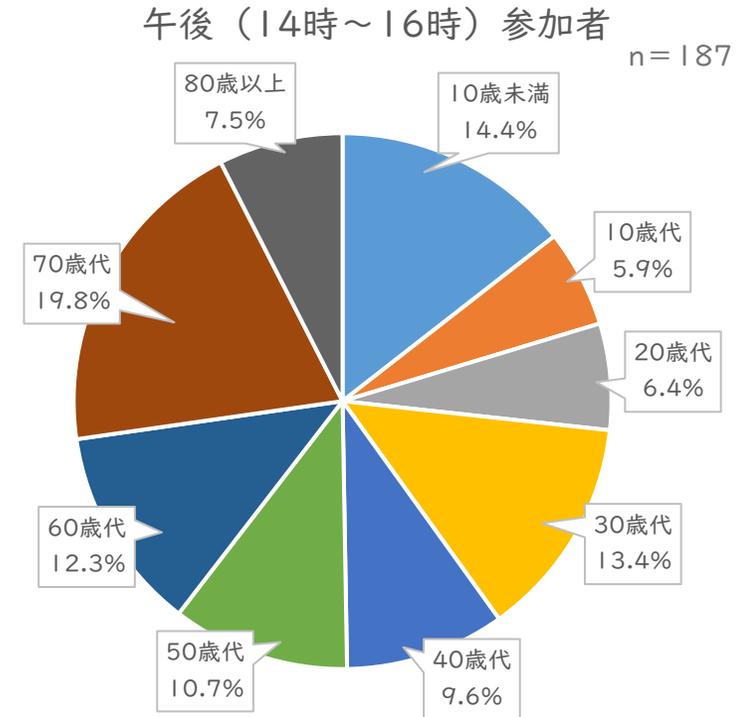
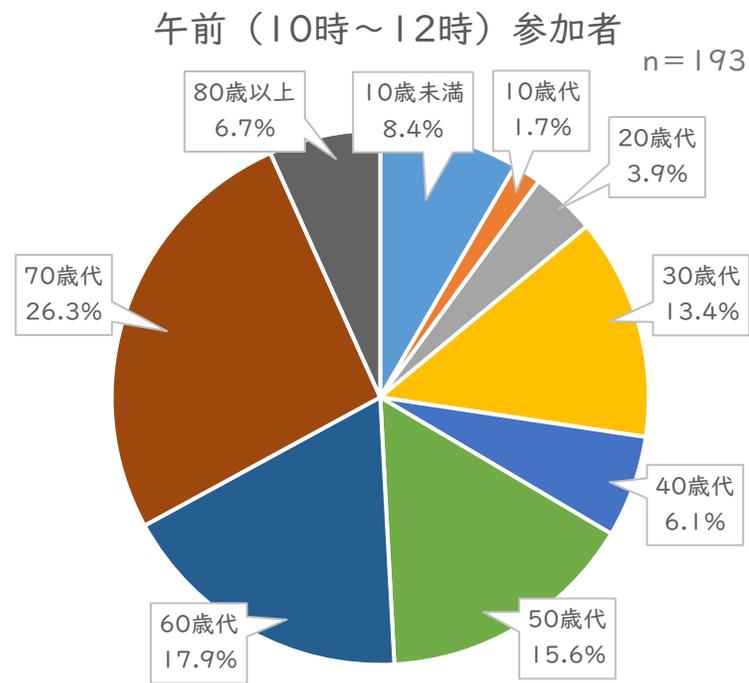
# 参加者の性別・年代

性別	人数	割合
男性	130	34.2%
女性	233	61.3%
未回答	17	4.5%
合計	380	100%

参加者の約6割が女性であった。  
ターゲットとする働き盛り層（30～50歳代）の参加者は33.1%であり、最も多かったのが70歳代であった（22.1%）。

年代	人数	割合	(参考) 守山市の人口割合※
10歳未満	42	11.1%	9.3%
10歳代	14	3.7%	11.5%
20歳代	19	5.0%	10.3%
30歳代	48	12.6%	11.4%
40歳代	30	7.9%	14.3%
50歳代	48	12.6%	15.2%
60歳代	55	14.5%	9.9%
70歳代	84	22.1%	10.6%
80歳以上	27	7.1%	7.5%
未回答	13	3.4%	※令和8年1月31日 時点
合計	380	100%	100%

# 参加者の年代（時間帯別）



ターゲットとする働き盛り層（30～50歳代）は、午前・午後ともに3.5割程度だった。20代以下の参加者は午前が約1.5割、午後が約3割と、午後の方が参加者が年齢層が若い結果となった。

# 実施日別測定者数

(単位：人)

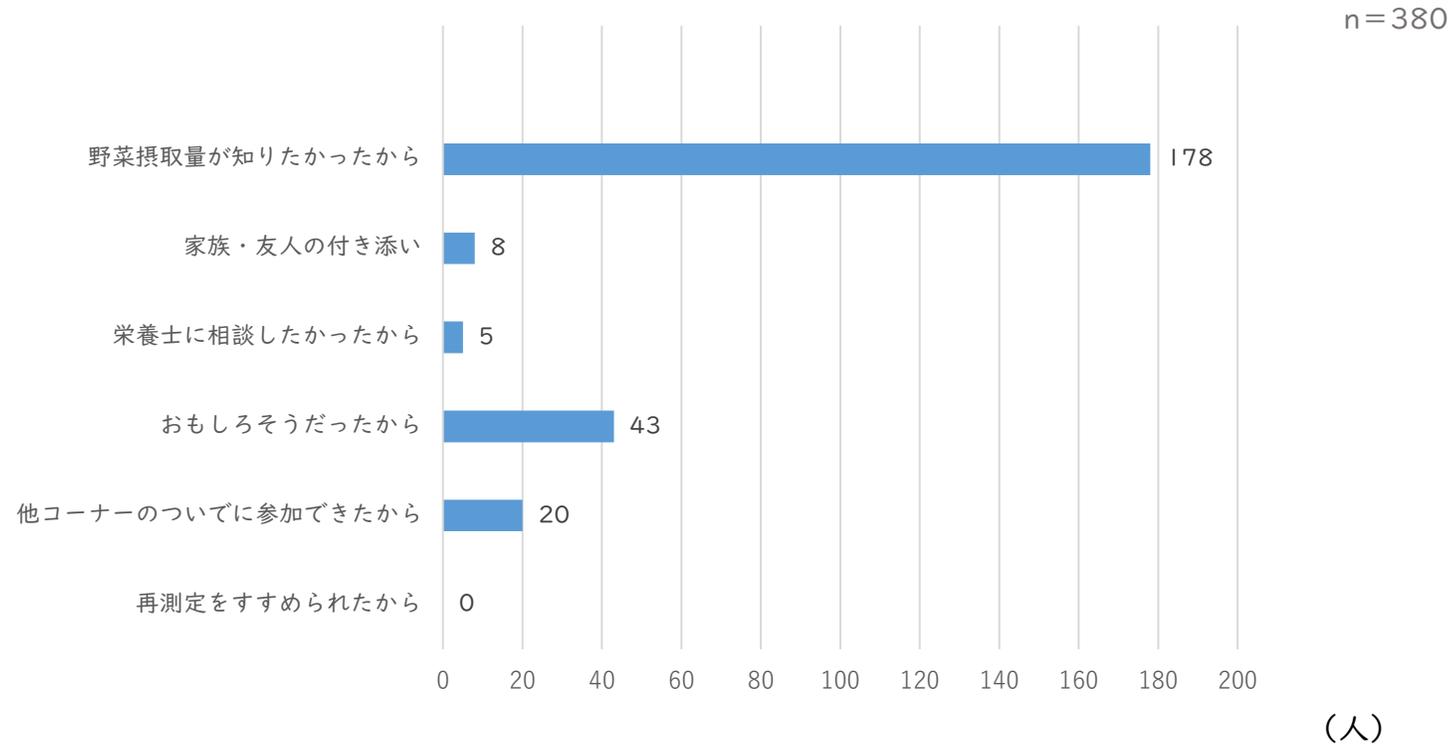
	am			pm			1日合計
	合計	1回目	2回目以降	合計	1回目	2回目以降	
7月26日	121	121		107	107		228
11月15日	72	63	9	80	77	3	152
1日の平均参加者数	97	92	9	94	92	3	190

# ブース別参加者数

(単位：人)

7月26日	推定野菜摂取量測定会			食育SATシステム			血管年齢測定		
	am	pm	合計	am	pm	合計	am	pm	合計
	102	101	203	78	61	139	90	91	181
11月15日	推定野菜摂取量測定会			歯周病リスク検査			絵本の読み聞かせ		
	am	pm	合計	am	pm	合計	am	pm	合計
	57	69	126	31	19	50	30	28	58

# 推定野菜摂取量測定会参加理由（複数回答可）



参加理由として、「野菜摂取量が知りたかったから」が最も多かった。  
次に「おもしろそうだったから」が多かった。

# 全測定者の測定結果（平均値）

	野菜摂取レベル (初回参加者)	野菜摂取レベル (2回目以降参加者)	推定野菜摂取量 (g) (初回参加者)	推定野菜摂取量 (g) (2回目以降参加者)
7月26日	6.1		297.8	
11月15日	6.3	6.5	305.9	316.7

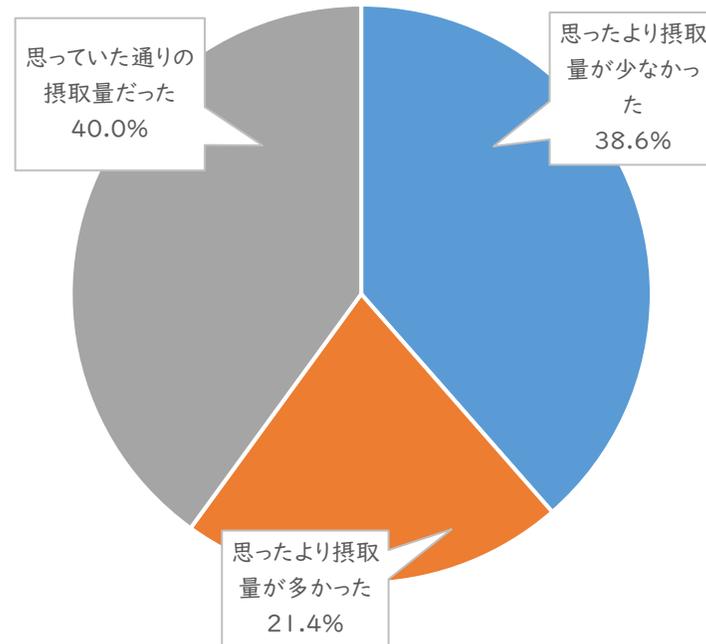
野菜摂取レベル、推定野菜摂取量の数値ともに11月の2回目以降参加者が最も高かった。  
継続して参加することが、野菜摂取への意識付けとなっていると考えられる。

※推定野菜摂取量  
野菜摂取レベルと同じ測定方法ですが、計算方法が異なるため、同じ野菜摂取レベルでも異なる推定野菜摂取量を示すことがあります。

# アンケート結果（第1～2回合計）

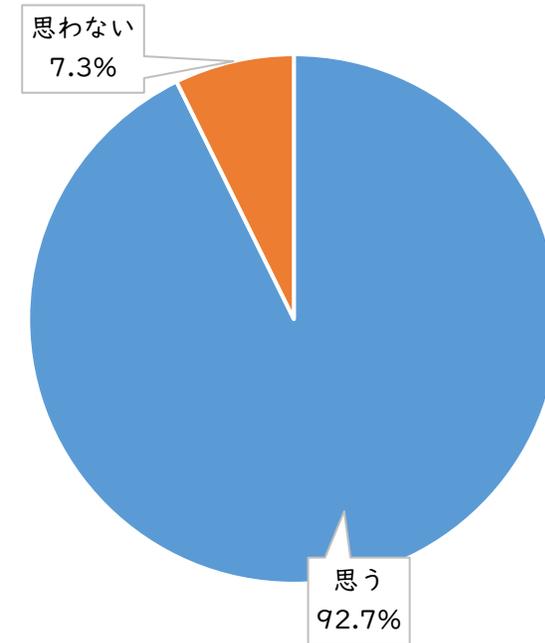
測定結果を見て

n=380



今後今まで以上に  
野菜を食べようと思ったか

n=380

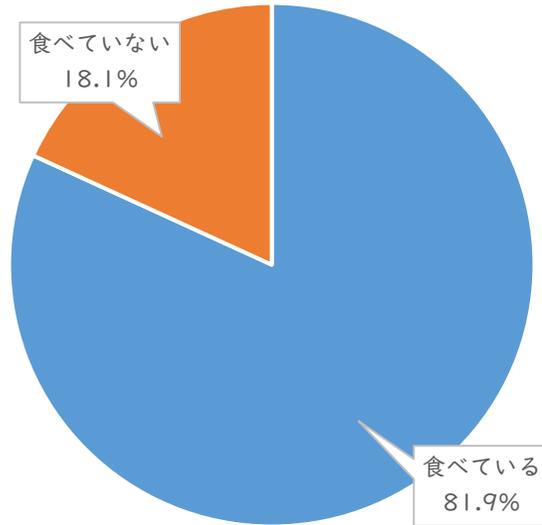


約4割の参加者が「思ったより摂取量が少なかった」と答えている。  
また、参加者の9割以上が「今後今まで以上に野菜を食べようと思う」と感じている。

# アンケート結果（第1～2回合計）

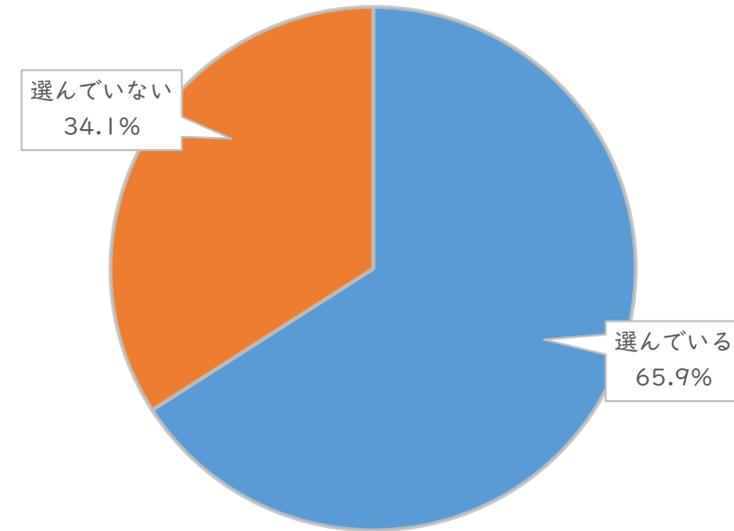
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を  
1日2回以上ほぼ毎日食べていますか

n=380



買い物の際に産地や生産者を意識して食品を選んでいきますか

n=380



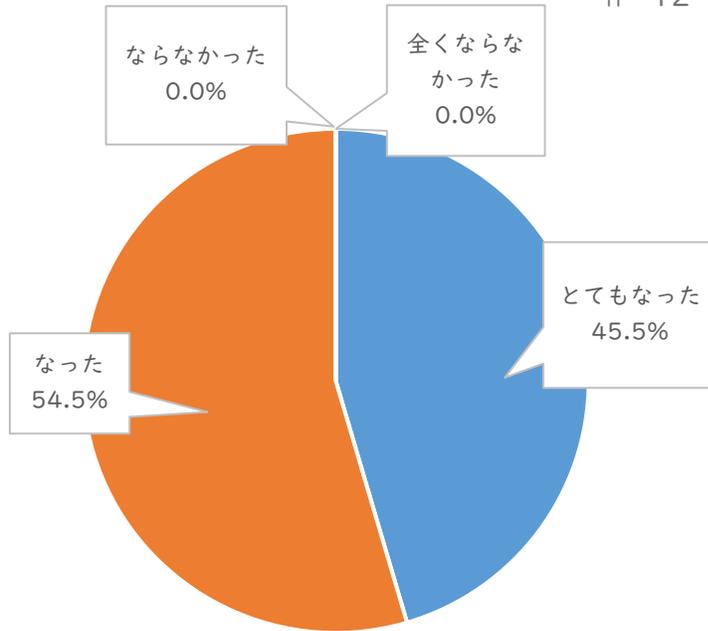
約8割の参加者が「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている」と答えている。

また、参加者の約6.5割が「買い物の際に産地や生産者を意識して食品を選んでいる」と答えている。

# アンケート結果（2回目参加）

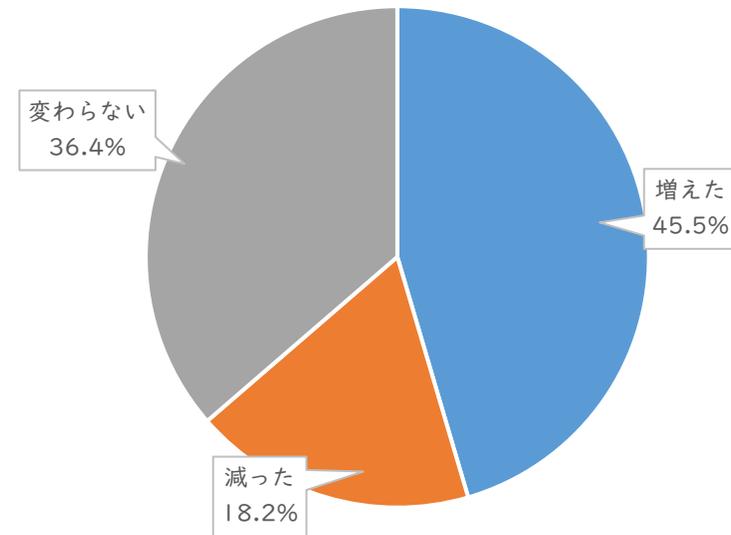
1回目から意識して野菜を食べるようになったか

n=12



前回の数値と比較して

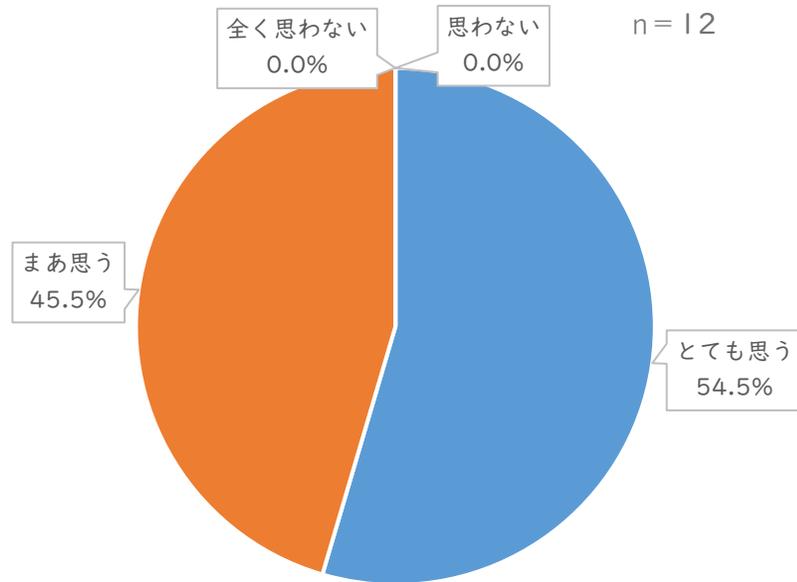
n=12



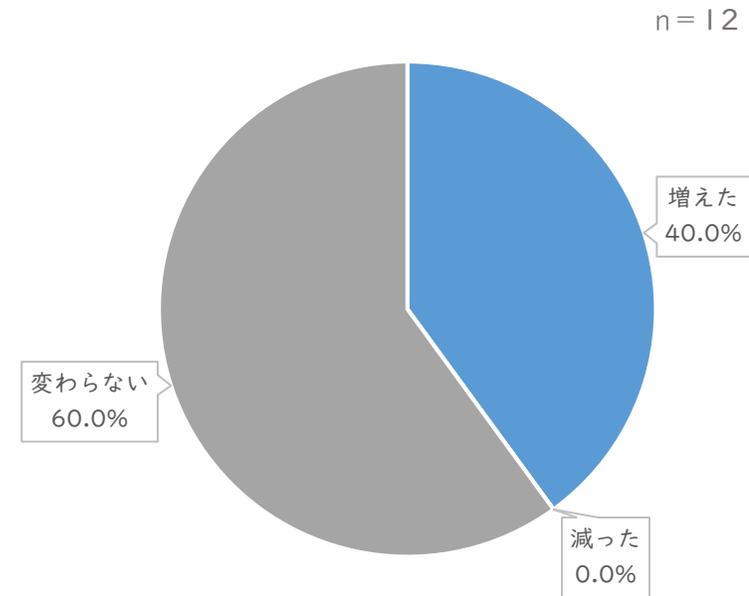
2回以上参加者の約9.5割が「1回目から意識して野菜を食べるようになった」と答えている。前回の数値と比較すると「増えた」と答えた人が最も多くは4.5割であった。

# アンケート結果（2回目参加）

これからも定期的に  
測定したいと思うか



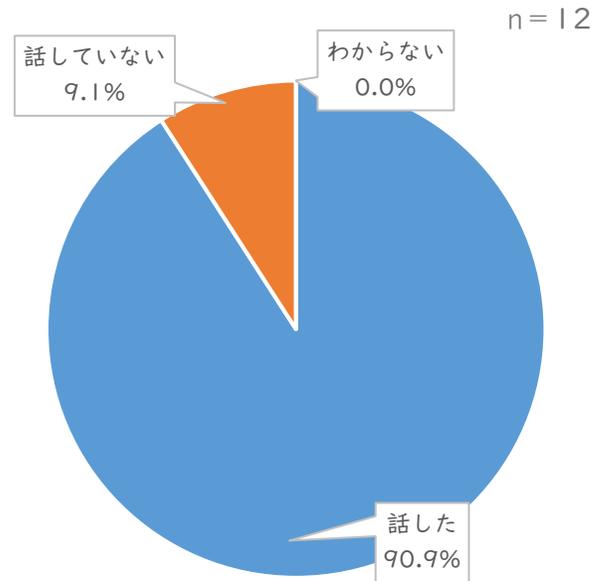
測定会参加後、  
野菜の購入量は



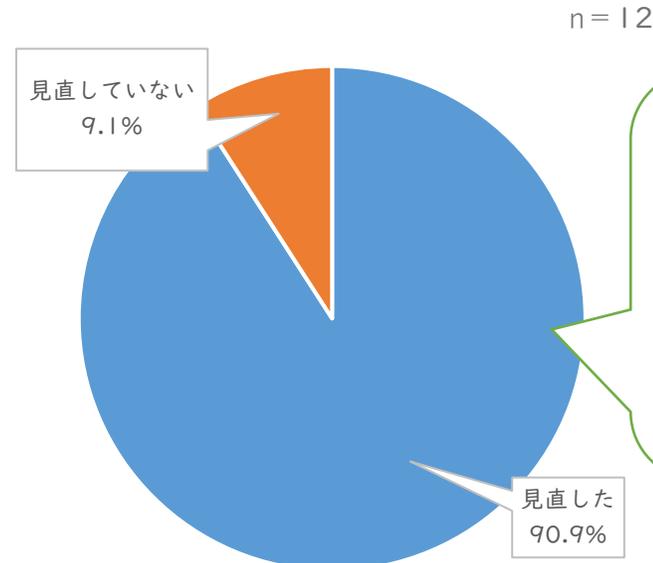
ほとんどの方が「これからも定期的に測定したいと思う」と答えている。  
参加後、野菜購入量が「増えた」人が4割であった。

# アンケート結果（2回目参加）

前回の測定会后、  
野菜摂取やベジチェックについて  
家族と友人と話したか



測定会后、食事や生活習慣を  
見直したか



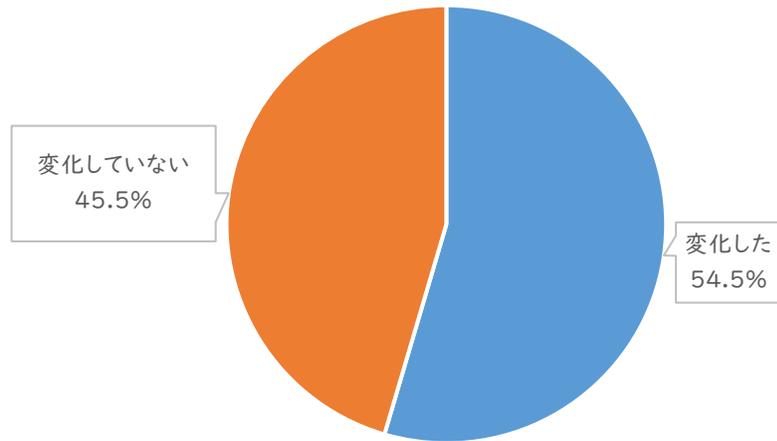
見直した内容として…

- ・「意識して野菜を食事に取り入れるようにした」
  - ・「緑黄色野菜を意識して食べるようにした」
- などがあった

参加後に野菜摂取やベジチェックについて家族に話した人は約9割であった。  
また食生活や生活習慣を見直した人は約9割であった。

# アンケート結果（2回以上参加）

測定会后、買い物の意識は変化したか



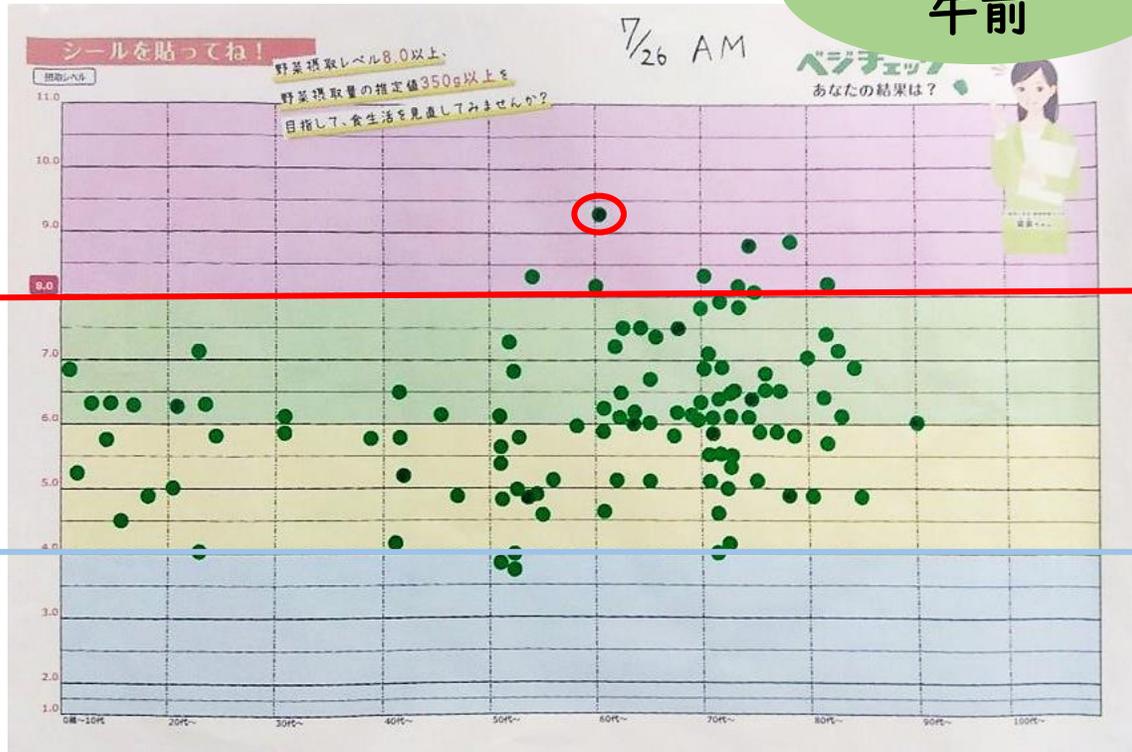
約5.5割の方が買い物の意識が変化したと答えている。

変化した内容として…

- ・「野菜を多く購入するようになり冷蔵庫には常に野菜をストックするようになった。」
  - ・「緑黄色野菜を多く購入するようになった。」
- などがあった

# 摂取集計ボードの変化

7月26日  
午前



11月15日  
午前



1回目と2回目を比較すると、2回目の方が目標値の8.0を超える人の割合が高く、最高値は10.0を超えている。また2回目では4.0を下回る人がいない。

# 総括

- 一日の平均参加人数は190人と昨年の182人に比べて微増した。
- 初回参加者と2回目参加者を比較すると、2回目参加者の方が野菜摂取レベル、推定野菜摂取量が高かった。  
継続して参加することが、野菜摂取の意識付けとなっていると考えられる。
- 来年度の開催においては、参加者が野菜摂取の意識を継続できるように、野菜摂取の啓発を強化し、また、引き続き、他コーナーとのコラボを積極的に行い、充実した健康イベントを目指す。